

湘南の三賢者

登山家 VS オートバイレーサー VS プロボクサーの考える「ロハス」

今回は、湘南エリアでロハスな活動を行っている人たち。

でも、うん十年前は今の仕事とはまったく無縁な業界で働いていた

3人の賢者に、ロハスに目覚めたきっかけや今後の夢をうかがいました。



がんこ本舗 木村さん(以下、キムチンさん)
宇和島生まれで、子供の頃はやんちゃな子だったというキムチンさん。18歳の頃家族で食事をしながらテレビを見ていると、エチオピアの子供たちが飢餓で死んでいく画像を見ていた母親が「かわいそうだね。」と言った一言から、「俺たちは、普通に食事をしていて、かたや飢餓で死んでいく!こんなやばいことは無い。」と感じた時から漠然と生きる目的が見えてきて、まずは農業をやろうと考え東京農大に入学。卒業後、農協に就職して農業機械の製作を行っていましたが、農家に足しげく通ったキムチンさんは、人と話し土を触っているうちに、薬品を使う栽培法に疑問を持ち退社。環境のために自分が出来ることを考えるようになったそうです。

高校時代おじさんに連れて行ってもらった山登りは、この頃趣味の領域を超えて、就職した神戸にある六甲山へのロッククライミングへと進化していました。参加していた山岳会では、月1回のゴミ拾いも行い「自分のおやまだから、綺麗にするのはあたりまえ。」と言うような、環境意識も高くなっていったそうです。
日本の山のほとんどを制覇したキムチンさんに、山にあるゴミ

について聞いてみたところ、「とにかくゴミが多くて、悲しくなるよね。キャンディの包み紙やビニールなど土に還らない物を捨てていく人が多くて、社会現象として登山がブームになってきているから、山に登る人も多くなって、必然ゴミも増えるんだろうね。最後は、登山者の意識の問題になってくるんだけど…」とおっしゃっていました。

ボディボードを始め、興味のあることは何でもやってみないと気がすまないキムチンさん。

夢を聞いてみたところ、「今やっている仕事は、地域の人に手伝ってもらっているのだけれども、気が付いたら、がんこ本舗のうわさを聞いて、日本中の旅人が集まってきていて、1ヶ月働いてまた旅に出かける。なんて事が去年あたりから始まっていて、これがとても素敵な事だと思うんです。たとえば、世界中の旅人が、来てくれて厨房にはインドから来た人がいるから、今日はカレーとか明日は日本の郷土料理とか、国や人種を超えたコミュニティを作って行きたいと考えていて、働いた人たちがうちの洗剤をまた世界中に広めて行ってくれたら、とっても素晴らしい事だと思っています。」

(株)清水建築工房 清水さん

続いては、そのやさしい笑顔からは、想像もつかない闘志で、世界グランプリ・ホンダワークスレーサーだった清水さんです。

中学時代は、サーフィンに熱中していた清水さんが、オートバイに興味を持ったのは高校に入り誕生日が来た11月の頃。「中学生の頃は、自転車か足代わりでしたが、オートバイの免許を取ると、行動範囲が一気に広がって楽しくて、そのうち箱根などに走り出かけるようになりました。そんなある日、友人に誘われて富士スピードウェイで行われたレースを見てから、オートバイレースにはまっていきました。しかし、

レーサーになった頃は、もちろんお金が無いので新聞配達や実家の工務店でアルバイトをして資金を稼ぎ、混んでいる週末のサーキットではなく、平日のサーキットで練習を続けながら、レースに参加していました。」

その後、ホンダのワークスから声がかかり、1年目でチャンピオンを獲得。世界に羽ばたきます。レース引退後は、関係各所からの誘いを全て断り、実家の工務

店で仕事を始めましたが、当時使用していた建材で、自分がシックハウスになってしまい、健康な家・安心な家に興味を持ち始め、現在の工房を造ったそうです。「レース業界には、何の未練もありませんでした。レース時代、順位に対しての周りの対応。つまり、世の中の冷たさも知りましたし、やっぱり自分が走っているときが一番楽しいので…。また、ちょうどその頃、実家の工務店では、地方から来た若い大工さんに教育をして、一人前になったら、地元へ帰って起業する。と言うようなことをやっていた、年に1回卒業していった人たちが、親父をいろんなところに招待してくれて、すごく人情を感じてこれから仕事をするなら、こんな仕事をして行きたいと思って、今の仕事を選びました。」と話す清水さん。家のデザインには、レーサー時代に見た世界各地のペンションや空間、建築方法も取り入れ、気持ちいい空間を作るために、自然素材とデザインの融合を目指しているそうです。

そんな清水さんの夢は、とお聞きすると「私一人が環境を訴えても、世界レベルではあまり状況は変わらないかもしれない。けれど、家を建てたときに自信を持って、この家は人と環境にいい家だと言えるような家を、造り続けて行きたいと考えているし、そんな家を造るためにこれからも、努力していきたいですね。」と話してくれました。

MIWAランド 中堀さん

環境に対して自然素材が使われていない事に疑問を持つ中堀さんは、これからの建築についてを話してくれました。「現在、人の集まる場所に自然素材を使った建物が少なく、たとえばオーガニックをアピールポイントにしているレストランが、内装にビニールクロスや有害な塗料を使い接着剤の匂いがしたり、ペンキを店じゅうに塗っている店があると、何か違うような気がしてしまいます。働く人も、1日のうち十何時間その店内で働くわけですから、来てくれるお客さんも店員も健康でいられる店舗が、これからは主流になるべき、ではないでしょうか?今後、自分のお店を造りたいと思っていらっしゃる方には、是非お店とオーナーの哲学をお客様に伝えるためにも、考えてみてもらいたいです。」

中堀さんは、今後どのような事やってみたいですか?とお聞きすると…。「先程の話ではないですが、今後は人の集まる場所、つまり湘南のお店をLOHAS空間にリフォームするような仕事をしていきたいですね。」

また消費者の方にもお店の内装にあるようなおしゃれで尚且つ自然素材を多用したりフォームやこだわり住宅を建てていきたいと思えます。」と話してくれました。

(株)ミワランド 代表 中堀 健一氏

<http://www.miwa-land.co.jp>
nakabori@miwa-land.co.jp
TEL.0120-75-7355

この三者会談は、延べ3時間弱におよび、とてもこの誌面だけでは書ききれません。詳しい話をお聞きになりたい方は、直接ご本人にお話を、お聞きください。

(有)がんこ本舗 代表 木村 正広氏
<http://www.gankohompo.com/>
info@gankohompo.com
TEL.0120-082-369

LOHAS HOUSING

今まで見てきた家と全然違うね…

「空気おいしい自然素材の家を一度体感してみませんか?」

玄関に入った瞬間から何故か空気おいしい…

窓を閉めると、外の音もまったく聞こえないのはなぜ?

この空間に居ると何故か落ち着き森林浴をしている感じ…

思わず口にしてしまう…「こんな家初めて!」

この秘密の答えはHPにて

ミワランド |

検索

開催決定!

施主現場見学ツアー
体感ハウス見学ツアー

今回、昨年建てたK様のお宅とミワランドの家作りが体感できる自然素材の家見学ツアーを行います。

■日時/4月8日(日)・AM10:00~PM2:00

■場所/JR横須賀駅集合 ■締め切り/4月3日まで

※詳細は予約確認後送ります。お気軽にお問い合わせください。

要予約



夏はカラッとヒンヤリ、冬は暖かいこの秘密って?



結露知らず。カビ知らずの空間



メンテナンスフリーの100年住宅

一級建築士事務所
株式会社 ミワランド
<http://www.miwa-land.co.jp>

戸塚本社 〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町302-1-1
横須賀営業所 〒238-0035 横須賀市池上7-1-5
逗子自然素材販売ショールーム
〒249-0004 逗子市沼間3-1-12
e-mail :nakabori@miwa-land.co.jp

●体感ハウス・現場見学会・小冊子の予約お申し込みは

0120-75-7355